

き継がれていく菩提寺が、ありがたくも今日から新たな出発が出来ます。どうか皆様、完成するまで心を定め、魂を込めて御していただきたい。本日皆様方がご出席いただき、祝っていただいたことに、只々合掌いたします。ありがとうございます。と挨拶されました。

**御祝儀・乾杯**

院首英知上人挨拶後、設計監理士、工事関係者ら十一名の方に、原総代から御祝儀が渡されました。田中総代が「落慶まで事故が無いように、ケガが無いように頑張ってください。」と要請され、次いで、「鬼木信次顧問に乾杯のご挨拶、ご発声お願いします。」と紹介。鬼木顧問が、「本堂の棟上げありがとうございます」



乾杯のご発声鬼木顧問（左から4人目）

ます。池田先生、玄匠の皆様、お檀家の皆様のご健勝を祈念して、また、お寺のますますのご繁栄と、お上人が健康に注意されることを祈念して乾杯します。カンパ〜イ」と声が仮本堂に響き、清宴が始まりました。

（編集委員・谷）

**新年のご挨拶**

婦人会会長 瀬口ミズ子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。檀信徒の皆様、婦人会の皆様、ご家族各位のご健勝をお祈り申し上げます。

圓頓寺の六大法要の当番地区の皆様には、お忙しい中にお手伝いいただき、大変お世話になりました心より御礼申し上げます。

永年に亘る台風や大雨の被害、一昨年の熊本地震の災害を受けました本堂の外

婚礼・着付

**サンロード大住**

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277

側を見ますと、壁や基礎石、ブロックに破損がありまして。本堂前の石段も隙間が出来ていました。柱も傾いているように見えました。檀信徒会館に貼ってありますシロアリ被害の写真を見てびっくりしました。大きな柱がボロボロになっていました。

昨年、護持会総会において本堂の改修が満場一致で承認されました。ご寄進の募集が始まり、私も応分の寄進をさせていただきました。三月にお祖師様、清正公様、鬼子母神様などを護持会会館へ移し仮本堂とされました。四月に起工式、十一月一日に上棟式が行われました。

私は法要やいろんな行事など、お寺にお参りの都度改修を見てきました。瓦が

撤去され、屋根・天井・壁がはずされ、柱だけの状態になりました。そして、今度はだんだんとお寺の様子が出来上がってきています。完成は早くても五月頃とお聞きしましたので、楽しみにお待ちしております。



荒神大祭の瀬口会長（左）

坊守様には、工事中の建築士の方の接待や、お寺の行事の食事の献立など、大変な心遣いをいただきありがとうございます。お身体

を大切にしていたいただき、今年もよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年も今まで同様ご指導、ご協力、ご支援を賜りますよう、また、婦人会も高齢化していますので、併せてよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶いたします。

南無妙法蓮華經

何度でもお逢いしたい  
身延のお祖師様

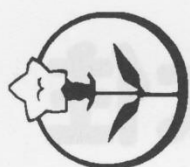
婦人会副会長 木下美枝子

春三月の末より四月の始めになると、今頃は山梨の身延の桜は…？と気になる私です。

仙台市に亡き主人と兄弟のように育った、従兄弟の木下清が居ります。その清

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉

 清流荘 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768  
電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)  
ファックス (0968) 43-5153

さんが病になり、息子が「叔父ちゃんを見舞いに行こう」と言ってくれましたので、「身延にお参りしてから行よ」と私が言って、「まわり道だけだなあ」と洩る息子に無理言って、四月十三日早朝より身延へと出発しました。私は飛行機では行けないのですが、今回は息子が計画をたててくれましたので、おまかせで楽々です。四月も中旬なので桜はあきらめていました



合同大掃除の木下副会長

が、四月初めの寒が強かったので桜が待っていてくれたようで、八分咲の桜でした。全山しだれ桜が見事でした。息子は始めての身延です。一番きれいな時に一緒に来ることが出来て、良かったと思います。いつものように、明朝祈願していただく清さんの病氣平癒、木下家先祖供養、家内安全等々をお願いして、宿に荷物を置いて思親閣へお詣りに行きました。春・桜もきれいで良い時季ですが、春休みも過ぎた頃だからか参詣者も多くな、ゆつくりとお詣りが出来ました。今日は朝早く家を出て、明日も朝のお勤めに参加してお詣りしたいと思って、早めにやすみました。朝五時、身支度をして本堂まで歩いて行きました。



献膳の儀・木下さん(左)

年ごとにこの坂道を上るのがきつくなっています。途中立ち留まって息継ぎを何度かするようになってきました。何度も何度も身延にはお詣りをいたしますが、身延のお祖師様の前で手を合わせると、涙がこみ上げてとどめなく溢れます。一年間背負ってきたもろもろのことを、全部吸収して下さるようで身も心も軽くなります。朝のお勤めのお経ですっかりお詣りさせてい

平成十七年度～平成三十四年度

りっしょうあんこく

立正安国・

だいまくけちえん

お題目結縁運動

日蓮宗



マルカメ醤油・味噌

灯笼しょうじょん

山鹿市中1000-2

☎ 44-3131

ただきました。

昨日頼んで祈願していただいた「お札やお守り」を受け取り、息子の先導で仙台市へ出発です。仙台市では、清さんの息子さんが駅まで迎えに来てくれていて、

清さんが入院している病院に連れて行ってくれたので、身延で祈願してきた「お札やお守り」を着帯していた

だき、久し振りに話も出来たし、何より清さんが喜んでくれたので良かったと思いました。

今年身延には行けないと思っていました。思いがけず清さんのお見舞いで良い機会が出来、併せて身延にお参りできたことが、何よりもありがたいことでした。

なぜ身延のお祖師様はこんなに恋しいのでしょうか。

他にも大きなそして有名なお寺にもお詣りいたします。

きびしいお顔、やさしいお顔、何でもご承知のお顔に感動することはありますが、それ迄です。

身延から帰ってきて我が家の仏様に無事お詣り出来たこと、清さんの病氣平癒を願ってきたことを報告し、お守り下さいとお願ひもい

### 年末総供養・荒神大祭 お焚き上げ式を奉行

師走の八日、寒気が入り、雨が降ったり陽がさしたりと不安定な天気の中、多くのお檀家の参加をいただき、六大法要最後の年末総供養・荒神大祭、お焚き上げ式が行われました。受付を済まされた方々は、

たしました。

帰ってきたばかりなのに、今度はいっつ行けるかなあと思ってしまう。恐れ多いことですが、今の私の心の恋人は身延のお祖師様です。毎朝夕手を合わせ、また逢える日をお祈りします。ありがとうございます。

南無妙法蓮華經

仮本堂の檀信徒会館の椅子席に座られ開始を待っておられます。半鐘が叩かれ、太鼓とお題目の中住職英人上人、秋吉上人、福山上人が入堂され、まず年末総供養が奉行されました。読経が続き、住職が年末回向を申し

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館

やすらぎの里

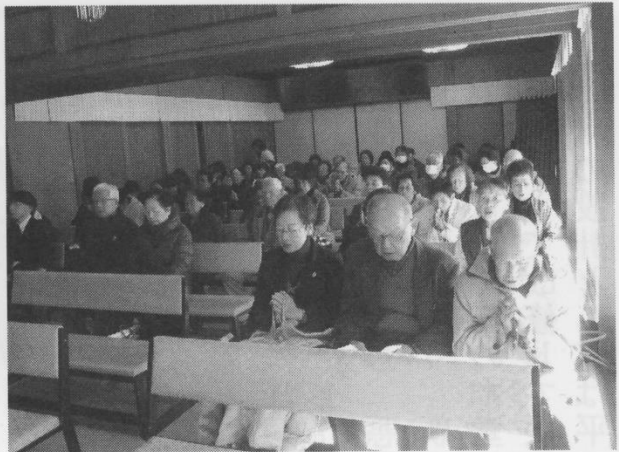


# 天寿苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



上げました。

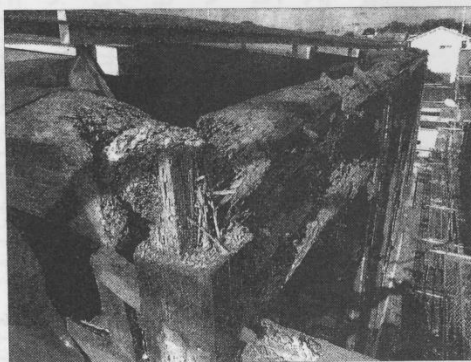
次いで、檀信徒会館玄関に於いて、会館前の大木のお祓いが行われました。この大木はもみの木系の雑木で、神木ではなく伐採されることになっており、側溝雨樋に、もみの落葉がつまり、環境上衛生上良くないので、お祓いして伐採もやむを得ずとなりました。総代挨拶は原総代が、お

参りの御礼と本堂大改修へのご理解ご協力に感謝を申し上げます。

法話に代えて池田一郎設計士が、「四月から始まった改修工事が現在では外観が形として出来てきました。一時は屋根も無く柱と梁だけの状態で、どうなるか心配された方もおられると思いますが、ここまできると立派なお寺として出来上がってきています。お寺様の建築は独特で、重要文化財などでも昭和の大改修、平成の大改修という言葉が聞かれたと思います。木造建築は大きな改修を一〇〇年から一五〇年ごとに繰り返しながら数百年、ときには千年を超えて後の世界に伝えていくのが木造建築の特徴です。圓頓寺様は一五〇年以上がたっておりまして、

初の大改修になります。世代としては五代・六代まで伝わっていきます。次の大改修は一〇〇年か一五〇年後になります。木造建築は改修を経ていけば長い年月伝わっていきます。弱点はシロアリです。

解体時 本堂白蟻被害状況



白蟻被害 柱上部 (南西隅部)

シロアリ被害(写真：池田一郎設計士)

本堂の後ろはシロアリの被害が大きく、よく持っていました。また地震で半壊の判定を受け傾きも大きくなっていました。シロアリ被害の部材は撤去、外側の

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483  
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968)43-2087

柱は経年劣化、シロアリの被害が大きかったので取替天井より上の部分はすべてなくなり柱と梁の状態となりました。圓頓寺様は江戸期の彫刻が非常に立派です。彫刻と健全な柱は残し、悪い部材は全て取りさり、新しい部材をもって元の本堂と同じ大きさを改修していきます。私の設計としては平



上棟式で四隅を清める池田設計士

成の意気込みを伝えます。(図面を示し)妻の部分は漆喰で固められていた、目立たない小さい屋根でした。今回は、大きく取り大破風と申しまして、虹梁という飾りを入れました。立派な造りとして改修再生させていただきます。年末に瓦が搬入されました、瓦のるのは年明けです。皆様にはご負担、ご迷惑をお掛けしますが五代、六代の世代に一度のことですので、大改修の機会にあつたというのもひとつの縁でございませう。私が設計したのもひとつの縁でございませう。この縁を五代、六代の先まで伝えていけるように大改修を見ていただて、ご子孫に伝えていただきたいと思ひます。このように立派なお寺を設計した



荒神大祭で祈祷する式衆

人がいた、と記憶に残れば幸いに思います。大変だったのはこの大改修を企画されたお寺様、総代様、これに答えられた檀信徒の皆様と申します。設計の機会を与えていただきありがとうございます。完成まで誠心誠意改修工事を監理いたします。来春までどうぞよろしくお願いいたします。」と改修工事の状況を話されました。



地域に密着した熊本の保険代理店

**アップワード エスト保険**

取扱生命保険会社

- アクサ生命 ■NKSJひまわり生命 ■アメリカンファミリー生命 ■大同生命 ■メットライフ生命
- 東京海上日動あんしん生命 ■オリックス生命 ■ソニー生命 ■エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

〒862-0965 熊本市南区田井島1-3-50 ガレリア2

Tel. 096-223-8105 FAX. 096-223-8106 email:esthoken@royal.ocn.ne.jp

休憩後、三宝荒神大祭が  
 住職英人上人、院首英知上  
 人、秋吉上人、福山上人、  
 松尾上人のご出仕で行われ  
 ました。大祭中、お焚き上  
 げ式の祈祷が住職英人上人、  
 福山上人により行われ、火  
 が点けられました。

式後住職が、年末総供養、  
 三宝荒神大祭への参拝に御  
 礼の後、「十二月八日は仏  
 教徒にとって大切な日です。  
 お釈迦様がお悟りになった  
 日が十二月八日です。一番  
 大切な日にご参拝いただい  
 たことは功德が大きいこと  
 でございます。十一月一日  
 に総代、役員、世話人様  
 のご案内で古式にのっとり  
 上棟式が出来まして、ひと  
 つの節目が出来たことを、  
 皆様方に感謝申し上げます。  
 完成までまだ時間がかかり  
 ますが、完成の日取りが決

まり次第皆様方にご案内申  
 し上げて、立派な本堂に生  
 まれ変わって、立派な落慶  
 法要が厳修出来ればと思っ  
 ています。今後ともお寺の  
 運営、お寺のあり方に対し  
 ましてご理解ご協力を賜り  
 ますよう、お願いいたしま  
 す。」と挨拶。

次いで院首英知上人が、  
 「二年の締めくくりの年末  
 総供養、荒神様のお祭りに  
 お詣りいただきましてご苦  
 労様です。一年間いろんな  
 ことがありました。年を感  
 じました。お経をあげてい  
 て若い人のお経についてい  
 けません。」と述べられた後、  
 本堂改修について御礼と協  
 力をお願いをされました。  
 挨拶後、当番地区の方々  
 が作られたお弁当と三宝荒  
 神札、特別祈祷のお札を手  
 に帰途につかれました。

# 質問箱

## その

14

圓頓寺たより第六九号の  
 婦人会長さんの「年頭のご  
 挨拶」にあった、日蓮大聖  
 人の法難が気になったお檀  
 家Qさん、月命日の回向に  
 みえた住職に聴いています。

Qさん

ご住職、「松葉ヶ谷草庵の  
 焼打ち」、「伊豆流罪」は教  
 えていただきましたが、ま  
 だまだ法難はありますね。

住職

はい、一年九カ月に及ぶ  
 伊豆流罪を赦されて、一二  
 六三年に鎌倉の草庵に帰ら  
 れましたが、翌一二六四年  
 （文永元年）の秋、お母さ  
 んの病が重いとの知らせに  
 より、故郷の安房小湊（現  
 千葉県）へ帰られました。

Qさん

お母さんが重い病気なら、  
 二度と会えないかもしれないな  
 いと、誰でも見舞いに帰る  
 でしょうね。



住職

大聖人が帰りつかれたと  
 きお母さんは危篤の状態  
 でした。大聖人は急いでお題  
 目を唱えて病氣平癒を祈ら  
 れたところ、しだいに良  
 くなり病氣が治って再会を喜

慈母蘇生

ばれ、四年間寿命が延ばされ  
ました。

Qさん

危篤の状態の病気が治るとは、大聖人のお題目の力はすごいですね。さすがお祖師様ですね。お母さんの病気がよくなってから、大聖人はどうされたのでしょうか。

小松原の法難

住職

大聖人はその後も安房に留まられ、布教を勧められました。信徒である天津（現千葉県鴨川市の一部）の領主「工藤吉隆」の要請により、一二六四年（文永元年）十一月十一日の夕方、説法に向かわれました。

Qさん

信徒にとっては、大聖人がみえているなら、直接話

を聴きたい。声を聴きたい。と願うのは当然ですね。

住職

大聖人の一行十数名が工藤吉隆の館へ向かう途中、小松原（現千葉県鴨川市）にさしかかった時、逆恨みしている地頭・東条景信が、武器を持った数百名とともに大聖人を襲うべく待ち伏せしていました。

Qさん

武器を持たない十数名と、武器を持った数百名では多勢に無勢、勝ち目はありませんね。

住職

武器を持った数百名に襲われた大聖人一行は、弟子の鏡忍房が大聖人をかばって亡くなり、二人の弟子も深手を負いました。また、急を聞いて駆けつけた工藤吉隆は身を楯として大聖人

を守ろうとしましたが、全身に傷を負い亡くなりました。

Qさん

数百名に襲われ、死者・けが人も多かったが、大聖人はどうなったのでしょうか。



小松原の法難

住職

大聖人を狙っていた東条景信は、大聖人に近づき太刀を振り下ろしました。大聖人は右の額に深い傷を負われ、左手も骨折されました。

た。

Qさん

今で言う瀕死の重傷だと思いますが、命はとりとめられたのですね。

住職

はい、九死に一生を得られました。斬りつけた東条景信は落馬し、襲撃の三日後亡くなったそうです。難をのがれた大聖人は小湊の岩山に身を隠されていました。通りがかりの老婆が自分の着ていた綿入れの綿を大聖人にかぶせて差し上げ、寒さと額の傷を癒されました。

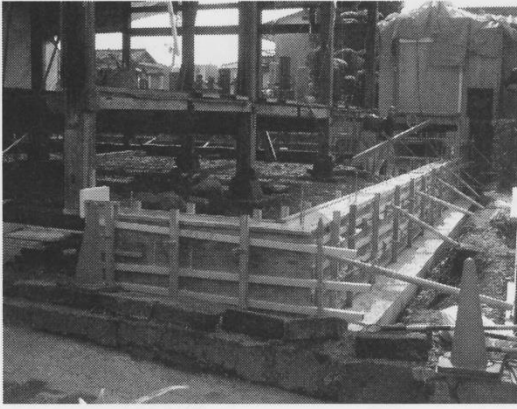
Qさん

あつそうか、これが寒くなる大聖人像にかぶせる綿帽子の由来ですね。いつからかぶせるのですか。

住職

おかぶせするのは、小松





7月20日 基礎工事

### 本堂改修スナップ

原法難の十一月十一日。お取りするのは、春のお彼岸の日が適当でしょう。

**Qさん**

こういういわれのある綿帽子なら、大事にしなくてはなりませんね。

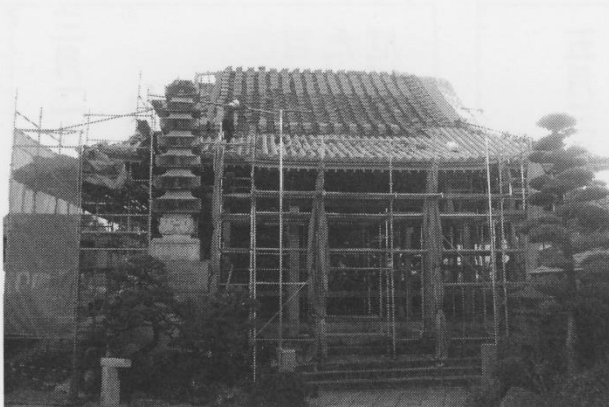
参考：日蓮宗の教え。日蓮大聖人御一代記。絵で読む日蓮大聖人の御生涯。仏教質問箱。他



10月13日 「小屋組」建込



7月30日 床コンクリート



12月22日 「瓦葺き」始まる



12月16日 「向拝」建築中

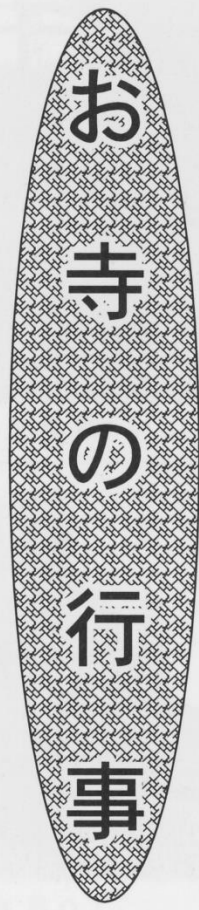
寺社建築設計施工・一級建築士事務所

# 株式会社 玄 匠

代表取締役 高橋 健二

〒830-0102 久留米市三潞町田川1728-2

TEL 0942-65-1866 / FAX 0942-65-1867



一月十三日(土)

日蓮大聖人報恩  
午前十時

### 初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

二月三日(土) 午前十時

### 開運 節分析禱会

除災招福・星祭祈禱

一月二十日(土)

日蓮大聖人報恩  
九日間・夜七時

### 大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

二月十六日(金) 午前十時

### 宗祖降誕会

御誕生をお祝する日

三月二十八日(水) 午前十時

### 鬼子母神祭

### 彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈禱が行われます。

五月三日(祝日) 午前十時

### 立教開宗会

### 大黒天まつり

六月二十三日(土) 午前十時

### 清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

### 発行所

山鹿城趾  
湯の町てら

常明山

### 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二八

電子メール:a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ:www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

### 盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール:info-seibunsva@hyper.ocn.ne.jp